

「マイナンバーカード決済及び情報プラットフォーム導入による広域連携かつ持続可能な移動サービス活性化事業」

今回のマイナンバーカードの利用は実証の範囲に限る

情報プラットフォーム



マイナンバーカード

- ・ユーザー別料金設定 (一般/学生/シニア等)
- ・利用頻度に応じたマイレージ付与 (運賃として使用可)



交通情報

- ・バス時刻表
- ・駅・バス停位置
- ・バスルート
- ・運行情報



エリア情報

- ・スポット情報
- ・エリア情報 など



利用情報

- ・乗降日時
- ・乗降場所
- ・利用回数
- ・利用金額



デジタルマップ (WEBアプリ)

- ・デジタルマップ上にすべての情報を集約
- ・WEBアプリのためインストール不要

各種情報はWEBアプリでいつでも利用可能

利用情報もクラウドに集約しいつでも確認可能

交通情報



乗車日時
乗車場所

エリア情報



降車日時
利用料金

降車場所
利用回数

利用料金

交通情報



交通事業者
運行委託事業者

利用前



情報を充実させ
利用しやすい
環境を提供

利用開始
時点



マイナンバーカードで
二次交通の利用が
可能となる



乗車



エリア情報の発信により
新たな目的地の発見など
利用促進をはかる



下車

通信環境の悪いエリア
でもマイナンバーカードへの
運賃の減算処理が可能
(オフラインでも可能)



買い物
(将来)



マイナンバーカードを
商業施設でも決済に
活用することが可能

継続利用
促進



持続的な情報発信で
地域の公共交通利用を
促進し続ける

マイナンバーカード利用場面 (実証時)